

# 山陽子ども アイランドだより

第154号

2023年(令和5年)

2月14日発行

赤磐市立山陽公民館

〒709-0827

赤磐市山陽1-10

TEL (086) 955-9777

Mail: sanyo-

komin@city.akaiwa.lg.jp

「大空に連凧をあげよう」

1月21日(土)

参加者

児童

32名

ボランティア

9名

保護者ボランティア

2名

毎年恒例、アイランド名物の「連凧」は全て手作りです。担当の高木さんを中心に、竹ひご等を事前に準備し、当日を迎えました。

凧を作る前に、山陽団地の活性化事業の「ひかりの実」の作製をしました。果実袋に笑顔の絵を描き、袋の中にLED電球を入れ、3月5日の収穫の日まで、山陽西小学校の校庭の木に吊るされます。

「ひかりの実」の作製後は、いよいよ本題の「連凧作り」に入ります。まずは、凧に絵を描くところから始めました。活動案内に、「描く絵を考えておいてください。」と記載していたところ、下絵を描いてきたり、描きたい絵を持ってきていたり、きちんと準備が出来ていて感心しました。干支の「卯」の絵が多く見られました。中には大好きな家族の似顔絵や赤磐市の市章など色々な絵が描かれていました。絵が仕上がると、説明を聞いて竹ひごや足を取り付けていきます。最後に連結用の紐を通して完成です。

「デコレーション寿司」

2月4日(土)

参加者

児童

34名

ボランティア

11名

保護者ボランティア

3名

長巻き寿司→巻き寿司→デコレーション寿司(押し寿司)と、お寿司作りも変化し、今回は、初めて「デコレーション寿司」を作りました。型は牛乳パックを使用し、家庭にある身近な物を使って作るのので、お家でも作ってもらえると思います。

今回は、高学年と低学年に分かれて活動しました。高学年には、後から活動する低学年の分の具材も作ってもらったので、大忙しでした。担当の乗田さんの指導のもと、いり卵を作ったり、きゅうりを切ったりと、班のみんなで協力しながら作りました。

具材ができたなら、自分用のお寿司作りに取り掛かります。型に酢飯・具材・酢飯の順に入れていき、上から押し板(牛乳パックで作製)で押し、その上にトッピングをします。それぞれに彩りや具材をどこに置くかなど考えながら、キレイなお寿司を作りあげました。

高学年が仕上がった頃、低学年がやってきました。高学年が作ってくれていた具材は、ひとり一人に紙皿に分けてくれていたので、それを使って作っていきます。ちゃんと話を聞くことができ、言われた通りに進めていったので、低学年でも上手にお寿司を作ることが出来ました。

コロナ禍の活動で、みんなで食べることは出来ませんでした。が、「立春」にふさわしい鮮やかなお寿司で、春の訪れをみんなで感じる事が出来ました。

空高く舞い上がった連凧

出来上がった凧は、ボランティアが一つに繋げて、西小の運動場に向かいます。天気にも恵まれ、きれいに澄んでいる空に33枚の連凧が舞い上がりました。子どもたちは、空高く凧を揚げるのに運動場を一生懸命走り回り、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



卒業間近の6年生たち  
この日は全員出席となりました!



## 制作風景



子どもたちの感想

- ・色をきれいに塗るように工夫した。
- ・キャラクターに鏡餅をのせた、お正月みたいな絵を描いた!
- ・紙の上から、はみ出さないように気を付けて竹ひごを貼り付けた!
- ・凧を上げるのが重かったけど、頑張って風の向きを考えて飛ばした。
- ・全速力で走って疲れたけど、凧が高く上がって気持ちよかった!

## 子どもたちの感想

- ・猫の手にして、きゅうりを細く丁寧に切った!
- ・具を種類分けして入れて、色々な味が楽しめるように工夫した!
- ・先生の話を聞いて酢飯を強く押しすぎないように気を付けた。
- ・班で連携を取って作れたから頑張れたし、楽しかった!
- ・自分たちで1から作った具材でギュツとして押し寿司にできたのが嬉しかった!

## 【お知らせ】

ボランティアとしてご支援くださった、國友和子さんがボランティアを辞められることになりました。調理などに携わっていただきました。長きに渡りお世話になり、感謝申し上げます。

